



2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月13日

上場会社名 ピクスタ株式会社
コード番号 3416 URL <https://pixta.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古俣 大介
問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部長 (氏名) 恩田 茂穂 TEL 03 (5774) 2692
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績（2025年1月1日～2025年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第3四半期	1,910	△13.2	101	△78.0	99	△78.1	66	△79.0
2024年12月期第3四半期	2,201	14.6	462	119.5	456	114.7	317	63.5

(注) 包括利益 2025年12月期第3四半期 63百万円 (△79.8%) 2024年12月期第3四半期 317百万円 (62.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	38.45	38.32
2024年12月期第3四半期	167.40	167.12

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第3四半期	2,390	1,155	46.5
2024年12月期	2,609	1,159	43.1

(参考) 自己資本 2025年12月期第3四半期 1,112百万円 2024年12月期 1,125百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	45.00	45.00
2025年12月期	—	0.00	—		
2025年12月期（予想）				45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,000	4.1	219	△61.7	225	△60.2	158	△59.8	91.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、短信添付資料の7ページ「2. (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」の「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年12月期 3 Q	2,296,640株	2024年12月期	2,296,640株
② 期末自己株式数	2025年12月期 3 Q	562,618株	2024年12月期	562,818株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年12月期 3 Q	1,734,007株	2024年12月期 3 Q	1,895,744株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、短信添付資料の3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用や所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が続いているものの、物価上昇や円安の継続に伴う個人消費の弱さに加え、米国の通商政策や金融資本市場の変動などにより、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境といたしましては、スマートデバイス、スマートフォン（以下、スマホ）アプリやインターネット広告（動画広告を含む）の普及に伴い、これまで以上にインターネットでのデジタル素材の活用機会が増えております。また、近年、スマホに付属するカメラ機能の高機能化やアプリの加工技術の向上により誰もが手軽に高品質の写真撮影ができるようになり、さらに撮影したスマホ写真をソーシャル・ネットワーキング・サービス（以下、SNS）に投稿・共有するスタイルが若年層を中心に定着してきました。加えて、ライフイベントごとの撮影機会の増加やSNSでの写真共有の増加に伴い、個人の撮影サービス市場は拡大するとともに、顧客ニーズは多様化しております。また、画像認識に関する機械学習については、深層学習技術の発展等によりその精度は向上し続けており、自動運転・セキュリティ分野などの様々な分野での活用が加速していくなかで、学習データの重要性は高まっております。さらに、近年ではAIを用いた自動画像生成等の技術革新が進んでおります。

このような状況の下で、当社グループは「才能をつなぎ、世界をポジティブにする」という企業理念の下、主にデジタル素材マーケットプレイス「PIXTA（ピクスタ）」、出張撮影プラットフォーム「fotowa（フォトワ）」を運営してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,910,946千円（前年同四半期比13.2%減）、営業利益は101,721千円（前年同四半期比78.0%減）、経常利益は99,646千円（前年同四半期比78.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は66,670千円（前年同四半期比79.0%減）となりました。売上高および各段階利益の減少は、前年同四半期において大口案件による売上計上があった反動によるものであります。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①PIXTA事業

PIXTA事業において、定額制の月間購入者数累計は、少量ダウンロードプランの利用ユーザーが減少したこと等により、103,595人（前年同四半期比4.2%減）となりました。一方、単品の月間購入者数累計は、ライトユーザーの離脱が影響したこと等により、65,965人（前年同四半期比16.8%減）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,509,526千円（前年同四半期比25.4%減）、うち定額制売上高は、958,886千円（前年同四半期比4.7%減）となりました。また、セグメント利益は、553,688千円（前年同四半期比37.7%減）となりました。売上高およびセグメント利益の減少は、前年同四半期において大口案件による売上計上があった反動によるものであります。

②fotowa事業

fotowa事業においては、サービスのリニューアルに伴う販売価格の値上げが影響し、累計撮影件数は12,825件（前年同四半期比19.9%減）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は291,601千円（前年同四半期比164.8%増）となりました。これは2024年12月に利用規約変更によりマッチングサービス（仲介契約形態）から自社提供サービス（請負契約形態）へと契約形態を変更したことに伴い、売上の計上方法を純額から総額へ変更したことが主な増加要因であります。なお、全ての売上を総額とみなして両者を比較すると前年同四半期比10.8%の減少となります。また、セグメント損失は、88,984千円（前年同四半期はセグメント損失82,004千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ218,866千円減少し、2,390,794千円となりました。

これは主に、流動資産その他が68,441千円増加した一方、現金及び預金が232,998千円、売掛金が54,991千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ214,898千円減少し、1,235,097千円となりました。

これは主に、契約負債が66,342千円増加した一方、未払法人税等が163,216千円、流動負債その他が87,838千円、1年内返済予定の長期借入金が19,964千円、買掛金が12,208千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ3,967千円減少し、1,155,696千円となりました。

これは主に、新株予約権が8,819千円増加した一方、利益剰余金が11,399千円、為替換算調整勘定が1,579千円減少したことによるものであります。この結果、自己資本比率は46.5%（前連結会計年度末は43.1%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月14日に公表した通期業績予想から変更はございません。

なお、業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる場合がございます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,826,422	1,593,424
売掛金	583,483	528,491
その他	101,411	169,852
貸倒引当金	△357	△686
流動資産合計	2,510,960	2,291,082
固定資産		
有形固定資産	7,791	7,572
無形固定資産	65,696	65,453
投資その他の資産	25,211	26,685
固定資産合計	98,699	99,711
資産合計	2,609,660	2,390,794
負債の部		
流動負債		
買掛金	447,556	435,347
1年内返済予定の長期借入金	19,964	-
未払法人税等	164,107	891
契約負債	559,960	626,303
その他	258,407	170,569
賞与引当金	-	1,985
流動負債合計	1,449,996	1,235,097
負債合計	1,449,996	1,235,097
純資産の部		
株主資本		
資本金	332,437	332,437
資本剰余金	322,437	322,437
利益剰余金	1,009,023	997,624
自己株式	△540,723	△540,531
株主資本合計	1,123,174	1,111,967
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	2,345	766
その他の包括利益累計額合計	2,345	766
新株予約権	34,143	42,962
純資産合計	1,159,664	1,155,696
負債純資産合計	2,609,660	2,390,794

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
売上高	2,201,595	1,910,946
売上原価	751,705	818,526
売上総利益	1,449,889	1,092,420
販売費及び一般管理費	987,564	990,698
営業利益	462,325	101,721
営業外収益		
受取利息	112	1,465
受取手数料	2,762	945
その他	3,325	548
営業外収益合計	6,200	2,959
営業外費用		
支払利息	178	29
為替差損	1,938	2,192
支払手数料	10,336	2,812
その他	55	0
営業外費用合計	12,508	5,034
経常利益	456,016	99,646
特別利益		
新株予約権戻入益	3,081	-
固定資産売却益	-	147
特別利益合計	3,081	147
特別損失		
固定資産売却損	-	32
特別損失合計	-	32
税金等調整前四半期純利益	459,098	99,762
法人税等	141,756	34,318
四半期純利益	317,341	65,443
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	-	△1,227
親会社株主に帰属する四半期純利益	317,341	66,670

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
四半期純利益	317,341	65,443
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△91	△1,482
その他の包括利益合計	△91	△1,482
四半期包括利益	317,250	63,961
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	317,250	65,091
非支配株主に係る四半期包括利益	-	△1,130

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

当社は、2024年2月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を実施し、当第3四半期連結累計期間において自己株式が151,257千円(164,700株)増加しております。

II 当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費の償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	19,948千円	21,025千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	PIXTA	fotowa	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,022,710	110,124	2,132,834	68,760	2,201,595	-	2,201,595
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	2,022,710	110,124	2,132,834	68,760	2,201,595	-	2,201,595
セグメント利益又は 損失(△)	889,180	△82,004	807,175	△68,615	738,559	△276,234	462,325

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、PIXTAオンデマンド事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用及びセグメント間取引消去等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2025年1月1日 至 2025年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	PIXTA	fotowa	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,509,526	291,601	1,801,127	109,818	1,910,946	-	1,910,946
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	1,509,526	291,601	1,801,127	109,818	1,910,946	-	1,910,946
セグメント利益又は 損失（△）	553,688	△88,984	464,704	△80,854	383,849	△282,127	101,721

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、PIXTAオンデマンド事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用及びセグメント間取引消去等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(株式取得による会社等の買収)

当社は、2025年10月17日付の取締役会において、株式会社YASUMIWORKS(以下YASUMI WORKS社)の株式を取得し連結子会社化することを決定し、同日株式譲渡契約を締結するとともに、株式を取得いたしました。

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及び事業の内容

名称 株式会社YASUMI WORKS

事業内容 体験型ワークショップの企画・運営

② 企業結合を行った主な理由

当社は、「才能をつなぎ、世界をポジティブにする」という企業理念のもと、「PIXTA」や「fotowa」などのビジュアルプラットフォーム事業を展開してまいりました。

YASUMI WORKS社は、SNSを起点としたものづくり体験店舗事業を展開する企業であり、Z世代の需要を的確に捉えたマーケティング戦略を強みに、高い収益性と持続的な成長力を実現しております。また、SNS発信力を活かした体験型店舗事業は、当社の企業理念および新規事業方針と高い親和性を有しています。

当社は中長期の方針として掲げる「売上の再成長」に向け、YASUMI WORKS社の若年層に対するマーケティング力や事業開発ノウハウをグループに取り込むことで、新たな成長機会の創出と、スピード感ある事業拡大を図ってまいります。

さらに、同社のリアル店舗を基盤としたオフライン事業は、オンライン事業の比重が高い当社のポートフォリオを補完し、AI技術の進展による影響を受けにくい、持続的かつ多様な事業構造の構築に寄与すると判断しております。

これらを総合的に踏まえ、当社は企業価値のさらなる向上を目的として、YASUMI WORKS社の株式取得および連結子会社化を決定いたしました。

③ 企業結合日

現時点では確定しておりません。

④ 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式の取得

⑤ 結合後企業の名称

変更はありません。

⑥ 取得した議決権比率

67.0%

⑦ 取得企業を決定するに至った根拠

当社が現金を対価として株式を取得したことによるものであります。

(2) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価 現金 134,000千円

取得原価 134,000千円

(3) 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザーに対する報酬・手数料 3,163千円

(4) 発生したのれんの金額、発生原因、償却の方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

(5) 企業結合日に受け入れた資産及び引受けた負債並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。